



東京都指定統計調査第4号 総務省届出済

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

令和5年度

東京都福祉保健基礎調査 調査票 (身体障害者手帳をお持ちの方)

調査期間: 令和5年10月11日(水曜日) ~ 11月10日(金曜日)
この調査についてのお問合せ先: 東京都福祉局 総務部 総務課 統計調査担当
電話: 平日 03-5321-1111 (代表) 内線39-025
土日祝日 03-5320-4011 (直通)
受付時間は、午前9時から午後5時30分までです。
調査期間中は、土日祝日も電話を受け付けます。
FAX: 03-5388-1401

<東京都処理欄>

Table with 7 columns: 調査票, 調査番号, 回答状況 (1回答, 2, 3, 4, 5)

ちょうさひょう かいとうほうほう
この調査票の回答方法

1 ご回答いただく方

○できる限り、ご本人がご記入ください。

○ご本人が文章を読むことや書くことが難しい場合は、大変お手数ですが、ご家族や介護されている方などが読み上げたり、代筆していただくなど、ご協力いただければ幸いです。

2 回答方法

○令和5年10月11日時点の状況をご回答ください。

○黒のボールペンで記入してください。

黒の鉛筆または青のボールペンでもかまいません。

○ **問**：特に断りがない限り、全ての方がお答えください。

○ **問**： **問** で特定の回答をした方のみ、矢印に従って回答してください。

○「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を（ ）内に記入してください。

※（ ）内に書ききれない場合は欄外に記入してください。

○以下のとおり、太枠内のあてはまる番号に○をつけて回答してください。

例1：あなたの性別を教えてください。

①	男
2	女
3	その他

番号の欄が白い場合は、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

例2：同居している方を教えてください。

①	配偶者
②	子供
3	兄弟姉妹

番号の欄がグレーで塗りつぶされている場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

例3：悩みごとにはありますか？

1	病気
2	仕事
3	人間関係
④	ない

または

①	病気
②	仕事
3	人間関係
4	ない

白とグレーの両方がある場合は、どちらか一方に○をつけてください。
白の番号を選んだ場合は○は1つだけ、
グレーの番号を選んだ場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

問1

この調査に回答される方はどなたですか。

対象者本人	代理の方 【対象者本人が回答できない場合のみ】	
	家族	その他 (ホームヘルパー等)
1	2	3

※ 対象者ご本人が回答（ご本人の意思に基づき回答）し、回答内容を家族や支援者の方が代筆した場合は、「1 対象者本人」に○をつけてください。

基本的属性

(以降の質問で「あなた」とは対象者本人を指します。)

問2

あなたの性別を教えてください。

1	男
2	女
3	その他

問3

あなたの年齢は何歳ですか（令和5年10月11日現在）。

	歳
--	---

問4

あなたの現在の生活の場はどこですか。（○は1つだけ）

1	自宅で生活している (福祉ホーム、グループホームを含む)
2	施設に入所している

問4-2 (次ページ) へ

問4-1

あなたが現在入所している施設はどれですか。
(○は1つだけ)

1	障害者支援施設
2	特別養護老人ホーム
3	介護老人保健施設
4	病院等の医療機関 (療養介護・医療型障害児入所施設)
5	その他 ()

問5

(4ページ) へ

じたく せいかつ かた とい えら かた き
自宅で生活している方(問4で1を選んだ方)にお聞きします。

問4-2

あなたのお住まいの種類は次のどれですか。(○は1つだけ)

※家族名義の家に住んでいる場合も「持家」とします。

1	持家 (一戸建て)
2	持家 (分譲マンション等)
3	都・区市町村の公営賃貸住宅
4	都市再生機構・公社などの 公的賃貸住宅 (※1)
5	民間賃貸住宅 (一戸建て)
6	民間賃貸住宅 (共同住宅)
7	間借り
8	社宅などの給与住宅 (※2)
9	福祉ホーム、グループホーム、 重度身体障害者グループホーム
10	その他 ()

※1

都市再生機構、住宅供給公社などの賃貸住宅をいいます。

※2

勤め先の会社・官公庁や雇い主などが所有または管理している住宅(独身寮を含む。)をいいます。

問4-3

あなたは現在、誰と一緒に生活していますか。
 (○はいくつでも)

1	親
2	配偶者
3	子供
4	兄弟姉妹
5	その他の親族
6	その他 ()
7	一人で暮らしている

問4-4

あなたを介護する方はいますか。介護する方がいる場合、
 現在の主な介護者は誰ですか。(○は1つだけ)

介護者がいる	1	父親
	2	母親
	3	配偶者
	4	子供
	5	兄弟姉妹
	6	その他の親族
	7	事業者 (ホームヘルパーなど)
	8	その他 ()
	9	介護者はいない

問4-4-1

主な介護者の年齢は何歳ですか。(令和5年10月11日現在)

※不明の場合は、不明とお答えください。

歳

問5

- (1) あなたの身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。(〇はいくつでも)
 (2) 手帳に記載された障害の程度をお答えください。(それぞれ1つずつ)

(1) 身体障害者手帳に記載されている障害名

視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	肢体不自由(上肢)	肢体不自由(下肢)	肢体不自由(体幹)	※脳性麻痺または乳幼児期以前に発現した脳性麻痺と類似の症状のある方 肢体不自由(脳原性運動機能障害)	小腸、肝臓の機能の障害、免疫機能障害	内部障害 (心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこうまたは直腸、 小腸、肝臓の機能の障害、免疫機能障害)
1	2	3	4	5	6	7	8	9	9

(2) 手帳に記載された障害の程度

1級	1	1	/	/	1	1	1	1	1
2級	2	2	/	/	2	2	2	2	2
3級	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4級	4	4	/	4	4	4	/	4	4
5級	5	/	5	/	5	5	5	5	/
6級	6	6	/	/	6	6	/	6	/
7級	/	/	/	/	7	7	/	7	/
不明	8	8	8	8	8	8	8	8	8

問6

あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度（総合等級）は何級ですか。
 (○は1つだけ)

1	1級
2	2級
3	3級
4	4級
5	5級
6	6級

問7

あなたが障害者になったのはいつですか。(○は1つだけ)

※2を選んだ場合は、年齢を()内に記入してください。

※複数の障害がある方は、最初に障害者になった時期についてお答えください。

1	出生前または出生時
2	()歳
3	不明

問8

主な障害についてお聞きします。その障害の原因は何ですか。
 (主な原因を1つだけ)

1	生まれた時から(出生時の損傷含む)
2	交通事故
3	労働災害
4	戦傷病・戦災等
5	その他の事故(2から4以外)
6	感染症
7	中毒性疾患
8	その他の疾患(6、7以外)
9	薬害
10	加齢
11	その他()
12	不明

問9

あなたの障害の疾病名は何ですか。(○はいくつでも)

1	脳性まひ	14	水晶体疾患
2	脊髄性小児まひ	15	網脈絡膜・視神経性疾患
3	脊髄損傷Ⅰ(対まひ)	16	じん臓疾患
4	脊髄損傷Ⅱ(四肢まひ)	17	心臓疾患
5	進行性筋萎縮性疾患	18	呼吸器疾患
6	脳血管障害	19	ぼうこう疾患
7	脳挫傷	20	大腸疾患
8	その他の脳神経疾患	21	小腸疾患
9	骨関節疾患	22	肝臓疾患
10	リウマチ性疾患	23	後天性免疫不全症候群
11	中耳性疾患	24	その他()
12	内耳性疾患	25	不明
13	角膜疾患		

問10

あなたは身体障害者手帳以外の障害者手帳を持っていますか。(○はア、イでそれぞれ1つずつ)

ア 愛の手帳(療育手帳)	イ 精神障害者保健福祉手帳	
1	1	持っている
2	2	申請中
3	3	持っていない

問10-1

愛の手帳(療育手帳)の程度は何度ですか。(○は1つだけ)

1	1度
2	2度
3	3度
4	4度

問11 あなたは過去1年間に医療機関を受診（往診を含む）したことがありますか。
（○は1つだけ）

※障害に起因する場合には、すべての病気・ケガ等を含む。

受診した	受診しなかった
1	2

問12 あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。（○はいくつでも）

1	心身障害者医療費助成（マル障）
2	自立支援医療（更生医療）
3	自立支援医療（精神通院医療）
4	難病医療費等助成
5	その他（ ）
6	利用しなかった

問13 あなたは現在、日常的に必要なとしている医療的ケアがありますか。
（○はいくつでも）

1	人工呼吸器（CPAP装置等マスク型を含む）
2	気管切開の管理
3	鼻咽頭エアウェイの管理
4	酸素療法
5	吸引
6	ネブライザーの管理
7	経管栄養
8	中心静脈カテーテルの管理
9	皮下注射
10	血糖測定
11	継続的な透析
12	導尿
13	排便管理
14	痙攣時の対応（座剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置）
15	その他（ ）
16	特に必要としていない

問14

あなたは次のa～jまでの動作について、自分一人ですみますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

※補装具等を使用している方は、使用した状態で判断してください。

		一人で全部 できる	一人でできるが スムーズには できない	一部手助けが あれば できる	全部手助けが 必要
a	食事をとる	1	2	3	4
b	家事(調理、洗濯、掃除)をする	1	2	3	4
c	トイレを使う	1	2	3	4
d	着替えをする	1	2	3	4
e	入浴をする	1	2	3	4
f	寝返りをする	1	2	3	4
g	家の中を移動する	1	2	3	4
h	外出する	1	2	3	4
i	日常の買い物	1	2	3	4
j	薬の管理	1	2	3	4

《問5(1)(4ページ)で1を選んだ方(視覚障害者の方)にお聞きします。》

※該当ではない方は、問16(次ページ)にお進みください。

問15

あなたは外出するとき、どのような手段やサービスを使っていますか。
(○はいくつでも)

1	一人で歩いて外出する(特に何も必要としない)
2	白杖を使って外出する
3	盲導犬を使って外出する
4	スマートフォンアプリを利用して外出する
5	ガイドヘルパー(移動支援・同行援助)を利用して外出する
6	家族、友人の同行やサポートのもと外出する

しゅうろう じょうきょう
就労の状況

問16

あなたは令和5年10月11日（調査基準日）現在、
収入を伴う仕事をしていますか。（○は1つだけ）

1	仕事をしている（一般就労など）
2	就労継続支援A型の事業所で働いている（福祉的就労）
3	就労継続支援B型の事業所で働いている（福祉的就労）
4	就労移行支援の事業所で働いている（福祉的就労）
5	生活介護で工賃をもらう生産活動をしている
6	仕事をしていない

問16-4

（11ページ）へ

※福祉的就労とは、一般就労（企業などへ就職し、雇用契約を結んで働くこと）が難しい障害のある方が、障害福祉サービスの中で就労の機会を選択しながら働くことです。障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業所などで作業をおこないます。

問16-1

現在、企業や公的機関などで働いていない（一般就労していない）理由は
何ですか。（○は3つまで）

1	自分が希望する仕事内容や労働条件に当てはまる仕事がない
2	障害が重く企業などで働くことが難しいため
3	健康面・体力面に不安があるため
4	人間関係を築くことが難しいため
5	受け入れてくれる職場が見つからないため
6	会社倒産、人員整理など
7	学校などで勉強しているため
8	家庭の都合（結婚、育児、介護など）
9	高齢のため（定年を含む）
10	企業や公的機関などで働く必要がないため
11	企業や公的機関などで働きたくないため
12	その他（ ）

問16-2

あなたは、過去、企業や公的機関で働いたこと（パート、アルバイト等を含む。）
がありますか。（○は1つだけ）

1	ある
2	ない
3	わからない

問16-3

今後、企業や公的機関で働きたい（パート、アルバイト等を含む。）と
思いますか。（○は1つだけ）

1	はい
2	いいえ
3	わからない

問17

（14 ページ）へ

問16-3-1

企業や公的機関で働くにあたって、心配なこと（課題）は
何ですか。（○は2つまで）

1	労働条件（労働時間、賃金など）
2	通勤場所、通勤手段、通勤時間
3	職場の（物理的な）バリアフリー
4	職場での人間関係
5	自分の健康・体力（病気などを含む）
6	働くために必要な知識や技術
7	障害特性への理解・合理的配慮
8	その他（ ）

回答後は問17（14 ページ）へお進みください。

問16で「1 仕事をしている」を選んだ方に伺います。

問16-4 あなたの雇用形態は何ですか。(○はいくつでも)

1	正規の職員・従業員
2	会社等の役員
3	非正規の職員・従業員 (パート・アルバイト・日雇等 (契約職員、派遣職員を含む))
4	自営業
5	家業の手伝い
6	内職
7	その他 ()

問16-5 1週間の就労日数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

1	1日
2	2日
3	3日
4	4日
5	5日以上

問16-6 1週間の労働時間は、どのくらいですか。(○は1つだけ)

* 休憩時間は除く

1	10時間未満
2	10～20時間未満
3	20～30時間未満
4	30～40時間未満
5	40時間以上

問16-7

現在の就職先に就職したのは、障害者になる前ですか、それともなった後ですか。(〇は1つだけ)

1	障害者になる前
2	障害者になった後
3	わからない

問16-7-1

どこ(誰)の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。(〇はいくつでも)

1	ハローワーク(公共職業安定所)
2	民間の職業紹介会社
3	区市町村障害者就労支援センター、 障害者就業・生活支援センター
4	学校
5	家族
6	知人
7	就労移行支援事業所等
8	福祉団体(障害者団体、福祉活動をしているNPO法人など)
9	その他()
10	支援は受けなかった

問16-8

現在の仕事に就いてからの期間はどれぐらいですか。(〇は1つだけ)

1	3か月未満
2	3か月～6か月未満
3	6か月～1年未満
4	1年～3年未満
5	3年～5年未満
6	5年～10年未満
7	10年以上

(次ページ)へ

《問16で「1 仕事をしている」を選んだ方に伺います。》

問16-9 仕事をしていく上で困ることは何ですか。(○は3つまで)

1	勤務時間・日数が自分の希望と合わない
2	通勤距離・時間が長い
3	通勤時の混雑
4	仕事の内容が障害の特性上、自分に合っていない
5	職場の(物理的な)バリアフリー化が不十分
6	人間関係が難しい
7	相手に対して、言いたい内容が伝わらない
8	相手の言っていることが分からない
9	定期的な通院や健康管理との両立
10	急な体調の変化や情報保障の面などで合理的配慮がない
11	その他 ()
12	困ることは特にない

問16-10 仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

1	職場の上司
2	職場の同僚
3	職場に派遣されたジョブコーチ
4	就労支援センター等の職員
5	家族
6	職場の同僚以外の友人
7	施設の職員、グループホームの世話人等
8	出身校の教員
9	その他 ()
10	相談する相手がない(相談する場所がない)
11	今までに特に困ったことはない

問16-11 これまでに、福祉的就労をしたことがありますか。(○は1つだけ)

1	ある
2	ない
3	わからない

問17

- (1) 令和4年中のあなたご自身の収入の種類をお答えください。(○はいくつでも)
 (2) また、そのうち主なものの1つの選択肢番号を にご記入ください。

(1)														(2)	
賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り・小遣い	養育費・感謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	おも 主なもの きにゅう 1つ記入
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	

問17-1

【年金・恩給の収入がある人にお聞きします】
 令和4年中における年金・恩給の収入額はいくらですか
 (○は1つだけ)

【年金・恩給】	
1	20万円未満
2	20～40万円未満
3	40～60万円未満
4	60～80万円未満
5	80～100万円未満
6	100万円以上

問17-2

【手当の収入がある人にお聞きします】
 令和4年中における手当の収入額はいくらですか。
 (○は1つだけ)

【手 当】	
1	20万円未満
2	20～40万円未満
3	40～60万円未満
4	60～80万円未満
5	80～100万円未満
6	100万円以上

問18

あなたの令和4年中の収入額(1年間)はいくらですか。(○は1つだけ)

1	収入なし	8	300～400万円未満
2	50万円未満	9	400～500万円未満
3	50～100万円未満	10	500～600万円未満
4	100～150万円未満	11	600～700万円未満
5	150～200万円未満	12	700～1,000万円未満
6	200～250万円未満	13	1,000～1,500万円未満
7	250～300万円未満	14	1,500万円以上

※収入額には、ご自身で働いて得た収入や就労継続支援事業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

しゃかいさんかどう
社会参加等

問19 あなたはこの1年間、平日の日中は主にどこで過ごしましたか。
(○は1つだけ)

1	自分の家
2	職場 (福祉的就労の施設を除く)
3	職場 (福祉的就労の施設)
4	学校
5	通所施設 (生活介護、デイケア、地域活動支援センター等を含む・福祉的就労の施設は除く)
6	入所施設
7	その他 ()

問19-1

あなたは、現在利用している施設に満足していますか。(○は1つだけ)

1	とても満足している
2	満足している
3	だいたい満足している
4	ふつう
5	やや不満である
6	不満である
7	とても不満である

問20 あなたはこの1年間、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。
(○はいくつでも)

活動をした	1	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物
	2	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動
	3	旅行やアウトドアなどの余暇活動
	4	学習活動 (オンライン参加含む)
	5	趣味の習い事やサークル活動
	6	ボランティア活動
	7	障害者団体での活動
	8	その他 ()
	9	活動をしたいと思うものはあるが、体調や情報保障の面などで合理的配慮がない等の理由で参加できない
	10	何か活動をしたいと思うが、参加したいものが見つからない
	11	活動をしたいと思わない

問21

あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。(○は3つまで)

1	道路や駅などの利用が不使
2	籠車やバスなどを使っての移動が不使
3	利用する建物の設備が整備されていない
4	点字版が古い、破損等により利用が不使
5	介助者がいない
6	情報がない
7	FAX番号やメールアドレスなど連絡方法の整備がされていないため、参加連絡などの問合せができない
8	まわりの人の障害者に対する理解不足
9	障害を理由に施設等の利用を拒否される
10	適切な指導者がいない
11	一緒に行く仲間がいない
12	要約筆記、手話通訳、字幕・文字表示、点字などの準備がされていない
13	ヘルプマーク等をつけて外出しているが、必要な配慮がされない
14	その他 ()
15	特にな

問22

あなたは、障害があるために、あきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。(○はいくつでも)

1	進学
2	就職
3	恋愛
4	結婚
5	出産・育児
6	人付き合い
7	近距離の外出
8	旅行や遠距離の外出
9	ファッションなどのおしゃれ
10	スポーツ・文化活動
11	好きな食事や嗜好品(お酒、たばこ、コーヒーなど)
12	その他 ()
13	特にな

じょうほう にゅうしゅ 情報の入手やコミュニケーションの手段

問23

あなたは、障害があるため、意思を伝える場合に困ることがありますか。
(○はいくつでも)

1	会話（発語ができない、声が聞きとれないなど）
2	筆記（文字を書けない、読めないなど）
3	家族や支援者などに、表情やサインなどから自分の意思を読み取ってもらうことが必要
4	その他（ ）
5	困ることはない

問24

あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションを円滑にするために、日常生活用具給付等事業で利用している用具等がありますか。
(○はいくつでも)

1	携帯用会話補助装置
2	情報・通信支援用具（※）
3	点字ディスプレイ
4	点字器
5	点字タイプライター
6	視覚障害者用ポータブルレコーダー
7	視覚障害者用活字文書読上げ装置
8	視覚障害者用拡大読書器
9	盲人用時計
10	聴覚障害者用通信装置
11	聴覚障害者用情報受信装置
12	人工喉頭
13	福祉電話（貸与）
14	ファックス（貸与）
15	視覚障害者用ワードプロセッサ
16	点字図書
17	その他（ ）
18	日常生活用具給付等事業の制度は知っているが、利用していない
19	日常生活用具給付等事業の制度自体を知らなかった（利用できることを知らなかった）

※選択肢は、「日常生活用具参考例（厚生労働省）」による

※情報・通信支援用具とは、障害者向けのパーソナルコンピューター周辺機器やアプリケーションソフトをいいます。

《問5 (1) (4ページ)で1を選んだ方(視覚障害者の方)にお聞きます。》

※該当ではない方は、問27 (19ページ) までお進みください。

問25

あなたは、日常生活において何(誰)から情報を得ていますか。
(〇はいくつでも)

1	点訳
2	指点字
3	手書き文字(てのひら書き)
4	拡大文字図書
5	録音図書・デージー
6	朗読サービス・代筆代読支援サービス
7	テレビ・ラジオ
8	電話・携帯電話(ガラケー)
9	スマートフォン・タブレット端末等
10	パソコン読み上げソフト等
11	視覚障害者支援スマートフォンアプリ
12	身近な人(家族、友人、支援者など)
13	その他()
14	特にな

問26

あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

(〇は特に困っていることに2つまで)

1	点字、音声の出版物が少ない
2	公共施設の案内等がわかりにくい
3	視覚障害者向けの行政の広報誌が手に入りにくい
4	初めて行くところでは、どのように行けばよいか迷う
5	重要な手紙や書類と気づかず放置してしまった
6	音声による情報が少ない
7	インターネット(スマートフォンやパソコン)からの情報入手が難しい
8	商業施設等でのタッチパネルでの操作が難しい
9	その他()
10	特に困らない

《問5 (1) (4ページ)で2を選んだ方(聴覚障害者の方)にお聞きます。》

問27

あなたは日常生活において、どのような手段で

コミュニケーションをとっていますか。(〇はいくつでも)

1	裸耳 (耳に何も装着しない状態) での聞き取り
2	補聴器・補聴援助機器での聞き取り
3	人工内耳での聞き取り
4	筆談
5	要約筆記通訳
6	口話・読話
7	日本手話
8	日本語対应手話
9	手話通訳
10	メール (携帯メール含む)
11	ファックス
12	電話リレーサービス
13	その他 (具体的に)

【日本手話と日本語対应手話の違いについて】

本調査では便宜的にこの用語を用いることとします。

	日本手話	日本語対应手話
説明	ろう者が伝統的に用いてきた手話で、日本語との対応はなく独自の文法の手話	文章を書く時の文法に合わせて表現する日本語に合わせた手話
手話 (例)	「パソコン」「私」 「何+困る表情 (どこ?)」	「私」「の(口形)」「パソコン」「は(口形)」 「どこ(「何」+「場所）」 「?(指でなぞる)」

〈日本語、日本語対应手話を利用している（問27で選択肢7または8を選択した）方にお聞きます〉

問27-1 あなたは手話通訳を利用したことがありますか。

利用した ことがある	利用した ことがない
1	2

問27-1-1

手話通訳で何か困ったことはありますか。
(〇はいくつでも)

1	使いたい時間帯に、手話通訳の調整がつかず断られたことがある
2	手話通訳を介しても、伝えたいことがうまく伝わらなかった
3	手話通訳の利用範囲に制限があり、利用しにくい
4	遠隔手話通訳を利用したいが、使い方がわからない
5	その他 ()
6	特に困ったことはない

問27-1-2

手話通訳を利用しない理由がありますか。
(〇はいくつでも)

1	利用しようとしたが、手話通訳の調整がつかず利用を断られたため
2	手話通訳の利用範囲に制限があり、利用しにくい
3	利用したいが、どのように手続きすればいいかわからないため
4	その他 ()
5	必要ないので利用していない

問28

あなたは情報入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
(〇は特に困っていることに2つまで)

1	手話では意思疎通に限界がある
2	筆談・要約筆記では意思疎通に限界がある
3	口話では意思疎通に限界がある
4	字幕付きのテレビ番組が少ない
5	手話付きのテレビ番組が少ない
6	案内等での緊急・非常時の情報が入りにくい
7	まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない
8	インターネットの使い方がよくわからない
9	メールの使い方がよくわからない
10	問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
11	その他 ()
12	特に困らない

しょうがいしゃそうごうしえんほう しょうがいふくし どう
障害者総合支援法による障害福祉サービス等

じたく せいかつ かた とい えら かた き
自宅で生活している方(問4で1を選んだ方)お聞きします。

※該当ではない方は、問31 (23 ページ) にお進みください。

問29

過去1年間に障害者総合支援法による障害福祉サービスについて、
 どのような内容のサービスを利用しましたか。(〇はいくつでも)

1	介護給付	居宅介護 (ホームヘルプ) 等 (重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む)
2		短期入所 (ショートステイ)
3		生活介護
4	訓練等給付	自立訓練 (機能訓練、生活訓練)、就労移行支援、 就労継続支援 (A型・B型)、就労定着支援
5		共同生活援助 (グループホーム)、自立生活援助
6	地域生活支援事業	補装具費支給
7		移動支援事業
8		意思疎通支援事業 (手話通訳、要約筆記者の派遣等)
9		日常生活用具給付等事業
10		相談支援事業 (計画相談、地域移行支援、地域定着支援)
11		その他 ()
12		障害福祉サービスの制度は知っているが、利用していない
13		障害福祉サービスの制度を利用できることを知らなかった

選択肢1と2
 以外のサービス
 を利用して
 いる場合

問29-3
 (次ページ)へ

問30
 (次ページ)へ

問29-1

あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。(〇はいくつでも)

1	身体介護	5	同行援護 (身体介護・有)
2	家事援助	6	同行援護 (身体介護・無)
3	通院等介助	7	重度訪問介護
4	通院等乗降介助	8	行動援護
		9	重度障害者等包括支援

問29-2

あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。(〇は1つだけ)

1	十分である
2	足りない
3	どちらともいえない (十分だと思うことも、足りないと思うこともある)
4	わからない
5	その他 ()

問29-3
 (次ページ)へ

しょうがいしゃそうごうしえんぽう りょう かた とい えら かた き
障害者総合支援法のサービスを利用した方(問29で1から11を選んだ方)にお聞きします。

と い 問29-3

しょうがいしゃそうごうしえんぽう しょうがいふくし ひようふたん き
 障害者総合支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。
 れいわ ねん がつ げつ ふたん がく しょくひとうじっぴふたん のぞ
 令和5年9月の1か月にあなたが負担した額(食費等実費負担は除く)はいくらですか。
 (〇は1つだけ)

1	0円
2	1円～1,500円
3	1,501円～3,000円
4	3,001円～9,300円
5	9,301円～15,000円
6	15,001円～24,600円
7	24,601円～37,200円
8	わからない
9	9月は利用していない

じたく せいかつ かた とい えら かた き
自宅で生活している方(問4で1を選んだ方)お聞きします。

がით ではない方 は、問31 (次ページ) にお進みください

と い 問30

あなたのしょうがいしえんくぶんはいくつですか。(〇は1つだけ)

1	区分1
2	区分2
3	区分3
4	区分4
5	区分5
6	区分6
7	申請していない
8	申請したが非該当
9	わからない

しょうがいしゃそうごうしえんぽう おお わ かいごきゅうふ くんれんとうきゅうふ ちいきせいかつしえん
 ◆ 障害者総合支援法のサービスには、大きく分けて「介護給付」「訓練等給付」「地域生活支援
 じぎょう 事業」があります。このうち、「介護給付」を利用する場合のみ しょうがいしえんくぶん にんてい くんれん
 とうきゅうふ ちいきせいかつしえんじぎょう りょう かた しんせい ひがით せんたく
 等給付」や「地域生活支援事業」のみ利用した方は、「申請したが非該当」を選択してください。

れいわ ねん がつ にち ちょうさきじゅん びげんざい さいいじょう かたぜんいん き
令和5年10月11日(調査基準日現在、40歳以上の方全員にお聞きします。)

※39歳以下の方は、問32 (25 ページ) にお進みください。

問31

あなたは、介護保険制度を利用していますか。(○は1つだけ)

1	利用している
2	介護認定を受けているが、利用していない
3	介護認定を受けていない

問31-1

あなたの要介護度は何度ですか。(○は1つだけ)

1	要支援1
2	要支援2
3	要介護1
4	要介護2
5	要介護3
6	要介護4
7	要介護5

問32 (25 ページ) へ

問31-2

あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。

1 月にあなたが負担する額(食費等実費負担は除く)はいくらですか。(○は1つだけ)

1	0円
2	1円～4,970円
3	4,971円～10,400円
4	10,401円～16,580円
5	16,581円～19,480円
6	19,481円～26,750円
7	26,751円～30,600円
8	30,601円～35,830円
9	35,831円以上
10	わからない

問31-3

介護保険制度を利用している方(問31で1を選んだ方)お聞きします。

問31-3 あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。(〇はいくつでも)

1	ホームヘルプサービス (訪問介護)
2	訪問入浴介護
3	訪問看護
4	訪問リハビリテーション
5	デイサービス (通所介護)
6	デイケア (通所リハビリテーション)
7	ショートステイ (短期入所生活介護)
8	その他 ()
9	在宅サービスは受けていない

問32 (次ページ)へ

問31-3-1 あなたが受けているサービスの内容は何ですか。(〇は1つだけ)

1	身体介護のみ
2	生活援助のみ
3	身体介護と生活援助の両方

問31-3-2 サービス内容で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1	1回の訪問介護の時間が短い
2	訪問介護が1日に何回かに分けられている
3	家族がいるので訪問介護が受けられない
4	希望するサービスが受けられない
5	時間延長を希望しても受けしてもらえない
6	訪問介護員が代わってしまう
7	外出をしたくても対応してもらえない
8	その他 ()
9	困っていることは特にない

しせつにゆうしょ しせつにゆうしょしゃたいしょう
施設入所（施設入所者対象）

しせつ にゆうしょ かた とい えら かた き
施設に入所している方（問4で2を選んだ方）にお聞きします。

じたく せいかつ かた とい じ すす
 ※自宅で生活している方は、問35（次ページ）にお進みください。

とい
問32

あなたの入所を決めた人は誰ですか。（○は1つだけ）

じぶん き 自分が決めた	じぶんいがい ひと 自分以外の人 が 決めた
1	2

とい
問32-1

あなたが施設入所を決めた理由は何ですか。（○は2つまで）

1	かぞく かいじょ こんなん 家族による介助が困難
2	しょうらい ふあん 将来が不安
3	かぞく すす 家族に勧められて
4	す ばしょ 住む場所がない
5	すべてのめん せいかつ ほしょう すべての面で生活が保障されている
6	なかま あんしん 仲間がいるので安心
7	じょうじかいご ひつよう 常時介護が必要
8	いりょうてき ケア ひつよう 医療的ケアが必要
9	その他 ()

とい
問33

あなたは、今の施設に入ってからどれくらい（何年）になりますか。

ねん 年	げんざいにゆうしょ しせつ こた ・現在入所の施設についてお答えください ねんみまん ばあい きにゆう ・1年未満の場合は0と記入してください
---------	--

とい
問34

あなたは、今の施設での生活に満足していますか。（○は1つだけ）

1	とてもまんぞく 満足している
2	まんぞく 満足している
3	だいたいまんぞく 満足している
4	ふつう
5	ややふまん 不満である
6	ふまん 不満である
7	とてもふまん 不満である

その他の福祉サービス等

問35

あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。(○は1つだけ)

※将来も「今のままが良い」とお考えの方は、今の暮らしに該当する選択肢に○をつけてください。

1	入所施設で暮らしたい
2	家族と一緒に暮らしたい
3	グループホームでずっと暮らしたい
4	グループホームで支援を受けた後、一人暮らしをしたい (またはパートナーと暮らしたい)
5	一人暮らしをしたい (またはパートナーと暮らしたい)
6	その他 ()
7	わからない

問36

あなたが身近な地域で生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。(○は3つまで)

環境生活	1	障害者が暮らしやすい住宅の整備
	2	駅や道路における段差などのバリアフリー
経済基盤	3	就労の場の確保
	4	雇用施策の充実
	5	所得保障
日常生活に必要な支援	6	総合的な相談事業の充実
	7	ホームヘルプサービスの充実
	8	日中活動の場の充実
	9	ショートステイサービスの充実
	10	外出にかかわる支援の充実
	11	意思疎通(コミュニケーション)支援の充実
	12	情報提供面でのバリアフリー(字幕・文字表示、音声案内など)
	13	生活全般にかかわる情報提供の充実
	14	相談相手の確保や人間関係についてのアドバイス
	15	障害に対する周囲の人の理解
医療	16	医療の充実
	17	リハビリテーションの充実
	18	その他 ()
	19	特になし

問37 あなたが災害時に、不安を感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

1	災害の内容や避難指示等の情報を入手(理解を含む)できるか
2	適切に行動(避難や広域避難場所への移動等)できるか
3	自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができるか
4	周囲の人から必要とする支援を受けることができるか
5	避難所等において、必要な相談、介護、看護等を受けることができるか
6	避難所等に、必要な設備、食料、医薬品等があるか
7	その他 ()
8	特に不安はない

問38 あなたは災害に備えて、障害特性に応じた特別な対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

1	災害時の非常持出品、備蓄品の中に、障害特性に応じて必要な医薬品、食料等を用意している
2	避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している
3	災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している
4	災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対してお願いしている
5	災害時に避難する広域避難場所や福祉避難所を知っている
6	地域や自治体で作る避難行動要支援者名簿に名前、住所等を登録している
7	個別避難計画を作成されている
8	区市町村等が実施する避難訓練に参加している
9	災害時に障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫をしている (ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンダナ等)
10	その他 ()
11	どんな対策をすればよいかわからない
12	特に対策をとっていない

【都が作成している防災ブック・防災マニュアル】

平成29年度に作成した防災ブック「①東京くらし防災」及び平成27年度に作成した防災ブック「②東京防災」は、「自助」、「共助」の更なる促進を図るため、令和5年度に二つの防災ブックをセットでリニューアルしています。

リニューアルにあたっては、冊子版に加え電子版を作成するとともに、音声コードを掲載し、視覚障害のある方も含め、あらゆる方に読んでいただけるようにしています。今後、英語・中国語・韓国語など、多言語による発信も行っていきます。

都が作成している防災ブック・マニュアル①～③は、右記の二次元コードからそれぞれのホームページを見ることができます。

①東京くらし防災

リニューアル後の「東京くらし防災」は、日常の暮らしでの行動につながられるよう、誰もが日常生活の中で取り組める防災行動を提示するとともに、女性の視点のほか、高齢者、障害者、子ども、外国人、性的マイノリティ等、多様な視点での防災行動を提示しています。

二次元コード



②東京防災

リニューアル後の「東京防災」は、防災に関する知識を更に深めるため、災害を取り巻く最新の情報などを盛り込み、地域や学校、職場など様々な場面で活用できる内容を掲載しています。

二次元コード



③防災マニュアル（障害当事者の方へ）

障害のある方が大災害に備え適切な行動をとることによって、命を守り、必要な支援を受けられるための手助けになることを目的としたマニュアル。

「障害」についてよく知らない周囲の方々に、災害時に避難所等で過ごすに当たって、どのようなことに困るのか、過去の災害等を教訓に事例等も盛り込んであります。

目の不自由な方・耳の不自由な方・知的障害のある方・高次脳機能障害のある方のための災害時初動行動マニュアルをそれぞれホームページで掲載しています。

二次元コード



じゅういけん
自由意見

かぞく
○家族のこと

(家族との関係、家族への思い、家族についての心配事など)

い
○生きがいのこと

(したいこと、ほしいもの、行きたいところなど)

せいかつ なか なつとく けいけんとう
○生活の中での納得のいかない経験等

(障害への無理解・ハラスメント、交通機関利用時のこと、就労に関することなど)

いりょう かん
○医療について感じること

ちりょうほうほう くすり いりょうきかん ようぼう
(治療方法や薬について、医療機関への要望など)

○緊急時（病状の急変時、災害・事故発生時など）に不安に思うこと、あったらよいと思うサービスなど

○行政（東京都など）に望むこと
（行政サービス・福祉サービスのこと、各種制度に関すること、住宅や道路の整備など）

○その他
（新型コロナウイルス等の感染症の影響など）

- ◆ 長時間にわたりご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
- ◆ この調査の結果は、まとめ次第公表し、東京都の福祉・保健・医療施策の重要な基礎資料とします。